



場面ごとの工夫、視覚的ツールを用いた手順を!

# 発達障害のある子どもへの 外来・検査・入院時の よりよい対応の具体策

実際の映像・  
ツールで  
わかりやすく!

外来・検査・救急・入院場面でのさまざまな工夫、  
視覚的ツールを用いた具体的対応を映像を通して手順をお教えします。

**大屋 滋氏** 総合病院国保旭中央病院 脳神経外科 部長  
千葉県自閉症協会 会長

1981年東京医科歯科大学医学部卒業。2人の自閉症者の父親。千葉県自閉症協会会長として、自閉症や知的障害のある人達と関わってきた。勤務先の旭中央病院では、脳神経外科医として脳機能障害のある患者さんとのコミュニケーションの工夫に取り組んでいる。障害児者の地域生活支援を目的としたNPO法人あおぞら理事長、権利擁護を目的とした一般社団法人東総権利擁護ネットワーク理事長、千葉県TEACCHプログラム研究会副代表。著書には『発達障害のある人の診療ハンドブック』（共著）がある。

|            |               |                  |
|------------|---------------|------------------|
| <b>大阪</b>  | 18年 12月15日(土) | 田村駒ビル            |
| <b>東京</b>  | 19年 2月2日(土)   | 日総研研修室(廣瀬お茶の水ビル) |
| <b>名古屋</b> | 19年 3月10日(日)  | 縁(えにし)ビル         |

[講義時間] いずれも10:00~16:00

**参加料** 一般 18,500円 会員 15,500円  
**税込** ※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。  
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数13人。

ねらいお客様の声は

## プログラム

### 1. 発達障害の理解と特性

- 1) 自閉症スペクトラム(ASD)
- 2) その他の発達障害  
注意欠陥多動性障害(AD/HD)・学習障害(LD)・知的障害(精神遅滞)・アスペルガー症候群(AS)

### 2. 医療場面で問題となる特徴と支援者の基本姿勢

- 1) 発達障害の特徴
  - ・言葉を聴いて理解するのが苦手
  - ・イメージや見通しが持てない
  - ・感覚が過敏
  - ・嫌な経験が残る
  - ・じっとしていることができない など
- 2) 支援者の基本的姿勢
  - ・支援の原則
  - ・個人差と個別化
  - ・一般的な配慮
  - ・視覚的な支援の工夫

### 3. 医療場面別対応例で学ぶ! よりよい対応と工夫のポイント

- ※各場面でのさまざまな工夫、視覚的ツールを用いた手順を紹介
- 1) 外来…聴診、触診、点滴 など
  - 2) 検査…採血、脳波、レントゲン、CT・MRI、エコー
  - 3) 救急…時間的余裕がある場合、ない場合
  - 4) 入院…初期の配慮、環境変化によるストレスや不安の軽減 など

ホームページ 毎週更新 **現場から生まれた専門性を磨く研修と教材**

新生児・小児の治療と看護、  
暮らしと子育てを支える

隔月刊誌(年ぎめ定期刊行物)  
A4変型判 96頁 入会金 3,000円  
年間購読料 16,457円(共に税込)

6-7月号  
特集

- 「点滴固定」病院別の工夫のポイント!
- 療育にかかわる看護師の専門性と実践事例!
- 児童・思春期精神科で求められる看護

## こどもと家族のケア

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

|   |                          |                                    |                   |                             |
|---|--------------------------|------------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| <b>FAX申込書</b>   | ▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください |                                    | 送付住所 TEL( ) - 〒 - | 施設宛<br>請求書<br>必要<br>・<br>不要 |
|   | ふりがな                     | 氏名<br>(受取<br>確認者)                  |                   |                             |
| 発達障害のある子どもへの<br>外来・検査・入院時の<br>よりよい対応の具体策<br>[14563]   | 生年月日 西暦 19 年 月 日         | ▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください |                   | 送付先<br>自宅<br>・<br>勤務先       |
| ↓参加地区に✓印を   | お客様コード                   | 役職・部署                              |                   |                             |
| [4] <input type="checkbox"/> 大阪 12/15<br>[5] <input type="checkbox"/> 東京 19年2/2<br>[6] <input type="checkbox"/> 名古屋 19年3/10 | ご連絡をお送りします。メールアドレス       |                                    |                   |                             |

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 **日総研出版** 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報に目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)